

たったひとつの、かけがえのないものを
わたしたちはもらった。
花や木にも、動物たちにも、わたしにも
だれにも平等にたったひとつだけ。

それは
わたしの力で生かしていくものだから
そして
多くのものに支えられているものだから

何よりも大切にしたい
この いのち。

いま生きているわたしを感じよう

そっと胸に手を当ててごらん
どっくんどっくん
いのちの鼓動がひびいてくるだろう

大きく息をすいこんでごらん
からだの中に
新しい元気が入ってくるだろう

そして手を大きく広げて
せのびをしてごらん
からだの中から
生きる力がわいてくるだろう



わたしがいまここにいるのは、奇跡に近いぐう然かもしれない。
受けつがれてきたいのちのバトンを受け取って、この時代に生まれ
多くの人たちに支えられ、守られ、こうして大きくなった。
まるで、ひとりで大きくなったような顔をしているけれど
実はいろいろなことに感謝しなければならないと思う。
このいのち、——わたしのかけがえのないいのち。
これからもずっとかがやかせていきたい。
わたし自身のために。
わたしを支えてくれる多くの人たちのために。

あたえられたいのち 支えられてきたいのち

いのちについて学んだこと、そして考えたこと

| | |
|---------------|-------------------|
| 理科で 年月日 | _____の授業で 年月日 |
| 道徳の時間で 年月日 | 学級活動・学校行事で 年月日 |
| _____で 年月日 | _____で 年月日 |



みんなの笑顔がたくさんあった

ふり返ってみようあのころ _____才のころ



いろいろなことに
興味いっぱい

ふり返ってみようあのころ _____才のころ



自転車に乗る練習をしたとき
後ろで支えてくれたのは
だれだっただろう？

自分のいままでを
ふり返ってみよう

はじめて泳げたときの感動は忘れない



ふり返ってみようあのころ _____才のころ

これからもっともっと かがやかせていきたい

かぎりあるいのち
かけがえのないいのち
受けつがれるいのち
わたしが生かしていくいのち
わたしのいのち

だから…

自分のこれからを
考えてみよう